特定非営利活動法人フードバンク浜っ子南　　2021 年度　事 業 報 告 書

はじめに

フードバンク浜っ子南は、コロナ禍で逼迫するひとり親とその子どもへ食品を支援したいという思いから活動を始め、この取り組みを地域の中で持続可能な確かなものとしていくために、NPO 法人化いたしました。フードバンク浜っ子南の活動が、支援が必要な方々と支える方々を結ぶつなぎ目として役立つものでありたいと願い、ひろく地域の皆様とともに活動を進めていきたいと考えます。

設立初年度は、長引くコロナ禍のなか増大する支援要請にお応えしていくため、提供食品、食品保管庫、運搬手段の確保に追われる一年でしたが、ひとりもお断りすることなく食品をお渡しすることができました。

ひとりでも多くの方にフードバンク浜っ子南を知っていただきたいと、情報発信に力を注ぎました。このことで、食の支援を必要とする方々、支援のお志ある方々、自分たちの地域を良くしていきたいと考える方々とのつながりの一歩をつくることができました。

実施事業

1　フードパントリー事業

(1)　　ひとり親家庭への食支援の充実

①増大する参加希望者の受け入れ

年度当初の参加者はひと月約 100 家族でしたが、3月末現在150家族となりました。

〇実施概要:

戸塚区1　毎月第１日曜日　戸塚区役所多目的スペース(4 月～7 月、9 月～11 月)
ONE FOR ALL 横浜(8 月)
上倉田地域ケアプラザ(1 月から)

南区　　毎月第２日曜日　南区地域子育て支援拠点「はぐはぐの樹」

磯子区　　毎月第３土曜日　磯子区福祉保健活動拠点(4 月)
磯子地域ケアプラザ(5 月から)

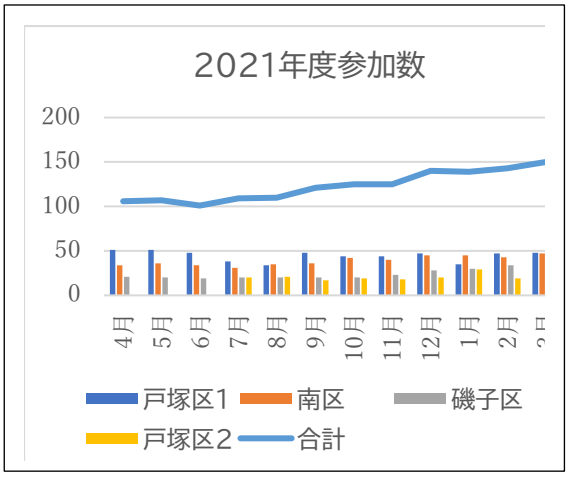
戸塚区２　毎月第４日曜日　戸塚区地域子育て支援拠点「とっとの芽サテライト」(7 月、12 月)
＊7 月開始　　戸塚区役所多目的スペース(8 月、1 月)
こまちカフェ(9 月～11 月、2月、3 月)

〇実施回数:　のべ45　回

〇参加人数:　のべ　1476　家族

〇1家族当たり１回の提供品:

紙袋食品(主食、副食、菓子、飲料)約4kg、
米1. 5kg、選べる食品、
野菜、日用品･衣類など



②提供品の種類と量の充実

９月	野菜と日用品消耗品の希望が多いことから、フードパントリーでの提供開始
９月	企業からのお米寄付により参加者の子ども一人 1.5kg を提供
９月～11 月	戸塚ほのぼの商和会の協力により戸塚1フードパントリーでお惣菜を提供
１月	農水省より米 300kg の交付を受け参加者の子ども一人1. 5kg 提供
１月～３月	学習机、ランドセル、卒業・入学用の式服などの寄付をいただき必要な方へ提供

（2）子ども向けお楽しみ企画

コロナ感染症の影響で、参加者から子どもが遊べる場所がない、連れて行くところがない、という声をききました。食品を受け取るだけでなく親子で楽しめる時間を過ごせるようお楽しみ企画を開催しました。

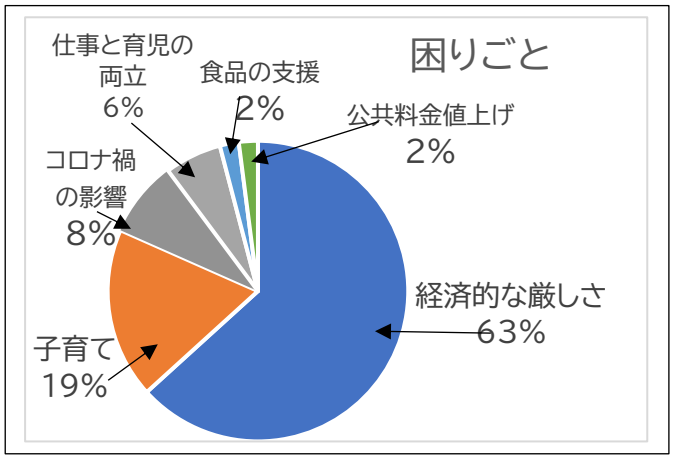
８月	夏まつり　ゲームコーナー
10 月	ハロウィン企画　お菓子バイキング
12 月	クリスマス企画　お楽しみ企画、お菓子や絵本のプレゼント

＊協力：NPO 法人チャリティサンタ
戸塚区地域子育て支援拠点「とっとの芽サテライト」
南区地域子育て支援拠点「はぐはぐの樹」
横浜保育福祉専門学校安藤ゼミ
バルーンアート mignon

（3）　生活相談を開始

参加者アンケートにより、ひとり親が食の困難に限らず様々な課題を複合的に抱えていることがわかりました。ひとりですべてを担わざるを得ない状況下、地域コミュニティや親・親戚などとのつながりが薄く、困りごとを相談できる相手がいない。また、日々の生活に追われるなか、公的支援や相談の情報へのアクセスが難しいこと、相談以前に自分の課題を整理する余裕がないことなどが浮かび上がってきました。食の支援を入り口に、まず話を聞き必要な情報を提供し課題解決の糸口となるよう、行政書士の資格をもつボランティアが生活相談に応じました。

〇相談件数：３件
〇相談内容：子供の学費請求の調停、
生活保護申請、
高額医療による家計の困窮



2021 年８月実施アンケートより（回答数 49）

2022 年1月実施アンケートより(自由記述)

＜参加者の声＞
・コロナで収入が減ってしまいました。
・初めは食料をもらいに行くのは少し恥ずかしかったけれど、和気あいあいな雰囲気でよかったです。
・年末年始に必要な品をいただいて温かいお正月を迎えました。
・お米が一番ありがたいです。生活費でいっぱいいっぱいなので子供の洋服などがあったらうれしい。
・日頃は仕事と育児の両立、時間のなさに苦労しています。毎月のお給料がバラバラでせつなくなる。
＜希望の多い食品・日用品＞ お米、野菜、果物、麺類、子供服(下着・くつ下)

(4) コロナ感染症対策

①参加はすべて事前予約制、時間指定で来場、入り口で検温、手指の消毒

②ボランティアは検温、手指の消毒、医療用マスク・使い捨て手袋着用を徹底

③受付にアクリル衝立設置、会場の人数と換気に注意を払って実施

(5) 地域のフードパントリーに共催・協力

①永田地区センターフードパントリー

②栄区社会福祉協議会フードパントリー

2 フードデリバリー事業

地域の子ども食堂、子ども支援団体と連携することで、子どもの育ちを応援します。

①必要に応じて菓子、飲料、食品を届ける

②フードパントリー実施の子ども食堂に食品提供

③食材として日本ケンタッキーフライドチキンの冷凍チキンを提供

〇連携団体 20団体

磯子区: こどもすまいる食堂、プラザ de ごはん、学習支援ばるーん

港南区: とまとこども食堂、港南台こども食堂みんなのカフェ、ひまわりハウス、他2団体

戸塚区: なないろのあした食堂、たいしょう食堂

南区: 睦地域ケアプラザこども食堂3団体(コドイチ、わいわい食堂、たんぽぽカレー食堂)、睦ハウス

泉区: だんだんの樹、宮ノマエストロ

他: 児童養護施設 2 団体、福祉施設 2 団体(寿生活支援開館、ポートファミリアくすの樹)

〇提供回数 のべ 137 回

3 フードドライブ事業

(1)　フードドライブ

地域の皆さんから食べきれない食品をフードドライブボックスに持ち寄っていただき、定期的に回収し、フードパントリーで活用します。

①フードドライブボックス設置協力先　6か所

　　港南区：丸山台いちょう坂商店街4店舗

　　南区：　永田地区センター

　　栄区：　ふれあいの家

　　戸塚区：憩いの家夢みん

②無印良品上大岡京急店のご協力

　　店舗のフードドライブ品の提供をいただいています。

③ファミリーマートフードドライブに協力パートナーとして協賛

　　戸塚深谷中前店、上大岡店のフードドライブ品を定期的に回収しています。

④一般社団法人乳がん予防医学推進協会主催「乳がん検診に行こう！絵画コンクール」に協賛し、会場でフードドライブを実施(11 月)

⑤川崎ラゾーナマルシェイベント会場でフードドライブを実施(11 月)

　〇フードドライブ品回収量　合計 958 kg

(2)　食品寄付

個人・団体・企業からの食品寄付が年度の後半に大幅に増えました。継続寄付支援を多数いただいています。

・個人の食べきれない食品の寄付。アマゾンギフトでの寄付。季節のお菓子・食品などの寄付。

・企業・団体からの防災備蓄食品の大量寄付

・食品ロス削減に資する寄付：地域のパン屋さんからパンの寄付

・企業内フードドライブ品寄付：(株)大川印刷、(株)さわかみホールディングス　他

・公共施設フードドライブ品寄付：舞岡地区センター

　〇寄付件数　353件

　〇寄付品受け入れ重量　合計約 13,231kg

以上